

2025年3月4日

2025年 BRM315 西東京 300 km 天城越え 試走報告

AJ 西東京 長谷川 薫

試走日：2025年3月1日

気温：3-21°C 天気 晴れ

今回のコースは西東京での新コースとなります。座間発も初開催となりますので集合場所も違いますので確認してからお越しください。なお、2025/2/3 v0.91のキューシートで走行しました。キューシートはこの試走報告の記載時点でPCが変更になっていますので必ず最新のキューシートを確認してください。コース上の注意ポイントなどはキューシートの備考欄にできるだけ反映していますのでお読みください。

ポイント

1. **スタート地点** 集合場所は芹沢公園北管理棟で、6時前のため周囲が暗いです。ご案内の通り、公園駐車場は閉鎖されており、金属ポールとチェーンで結ばれています。両脇の隙間から公園に入ることになります。気を付けてスタート地点にお越しください。せっかくのサイクリングを始める前に、閉鎖されたチェーンに引っかかり、ケガや機材のトラブルがあると残念なのでくれぐれも注意してください。

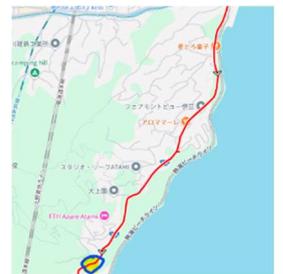


2. **スタートから 2.6km 地点 名無し信号 (キューシート #2)** この交差点で県道 51 号に左折します。信号は感応信号で、二輪車用押しボタンがありますので、信号待ちの時には押してください。試走時にはセンサーが自転車をうまく感知していたため問題はありませんでしたが、感応されないといつまでも待たされます。また、押してもすぐに反応せず待たされることがあることをご承知おきください。復路もこの交差点を通ります。同じように押しボタンを押して信号待ちをしてください。

3. **鶴松交差点を右折してすぐの十字路の左折 (キューシート #5)** 鶴松交差点を曲がると正面に橋が見えます。きれいな道になっていますが、この橋を渡らず、手前の十字路で黄色矢印の方向に進んでください。さらに約 100m 進むと、右の写真のような二股の交差点が見えます (キューシートには記載はありません)。こちらは道路の白い破線の通りに道なりに沿って右折すればよいです。



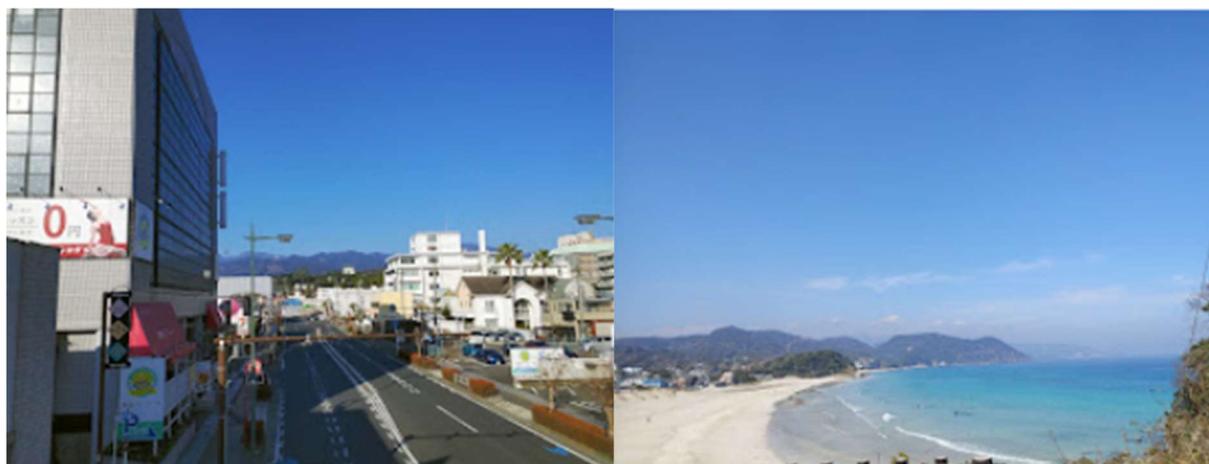
4. **下田に向かう途中の片側通行区間** 大規模なところは 1 か所でした。以前からご存じの方も多いと思いますが、湯河原から伊豆山の上りを終え、次の大洞台のバス停を越えた場所 (画像の青い場所) で土砂崩れの災害復興工事が進行中です。開催日も規制があると思われるので、指示に従って走行してください。この区間は復路でも使用します。夜になると警備員がいない信号のみになります。また、伊東を越えて、川奈エリアで小規模で交通整理されている場所がありました。また、他の箇所でも休工日の看板も多く見かけましたので、当日の道路状況に応じて指示通り走行してください。



5. **伊豆路の混雑** 伊豆路は所々で混雑します。この渋滞を通り抜ける際には注意してください。試走時もバイクも通り抜けをしようとして、機会をうかがい路肩で待機していたり、路肩に入ろうとするバイクを多数見かけました。バイクとの接触に注意してください。ヒヤッと感じたのが2回ありました。
6. **国道414号の新天城トンネルの上りと下りの渋滞** 今回は天城トンネルの上り（反対車線）が渋滞しており、上りの車線（進行方向）の車が路肩寄りに走り、いつもよりも自転車に近づく車が多かったです。ループ橋を抜けてから天城トンネルまでは2つのトンネルがあり、車の接触を避けるために、歩行者用スペースがあるので自転車押し歩きをしました。また、天城トンネル後の下りもいつもであれば楽しいダウンヒルといきたいところですが、道の駅 天城越えの手前から渋滞が続き、渋滞の車の脇をすり抜けるため、思った以上に時間を稼げませんでした。
7. **修善寺付近で暗くなる** 修善寺付近から暗くなりました。暗くなるとスピードが落ちますので、視界に注意しながら走行してください。そのため、前照灯2つ、ヘルメットに尾灯(点滅可)は必須でした。特に冷川トンネル後の下りは街灯もなく真っ暗なところをダウンヒル状況が続くのでライトの装備は400kmレベルにしておくとういいます。
8. **終盤。夜が来れば眠くなる** 復路の小田原付近の国道1号付近で眠気が強くなりました。ペースも落ちるので、少し休憩を取りながら走りました。また、夜間の気温低下によりカロリー消費があがり、血糖値がさがることによる眠気もあると考え、コンビニでカップラーメンを食べるなどして対処もしました。体調、気象状況に合わせて対処してください。

その他：

昨年の夏あたりから小田原市民会館の建物が解体されたこともあり小田原城の天守閣が国道1号から真正面から見えるようになっていています。少し視線をあげると近代化した城下町風情を感じられます。また、伊豆のオーシャンビューのスポットもたくさんあるのでぜひ寄ってみてください。Webpageに食事処、ビューポイント、足湯&湯処なども取りまとめています。参考にしてください。くれぐれもタイムマネジメントはしっかりと無理のないプランで走ってください。



スタッフ一同みなさまのお越しをお待ちしております。 以上